

スクールボランティア活動

兵庫県立大学看護学部1回生

小山 夏未 長谷川 千泰

スクールボランティアとは

地域の各種学校の教育に参加すること。
内容は単発の授業講師や授業補助、部活動指導、体験活動の受け入れ、校外学習の引率など多岐にわたる、各地で積極的に導入されている。

教育関係機関では外部人材の協力を要す



学校(園)の教育活動(教育課程内の活動及びそれに準ずる活動)上、学生の補助を必要とするものについて、学生が主体的な意欲に基づき「学生スクールボランティア」として活動を行う。

私たちが今回行った内容は

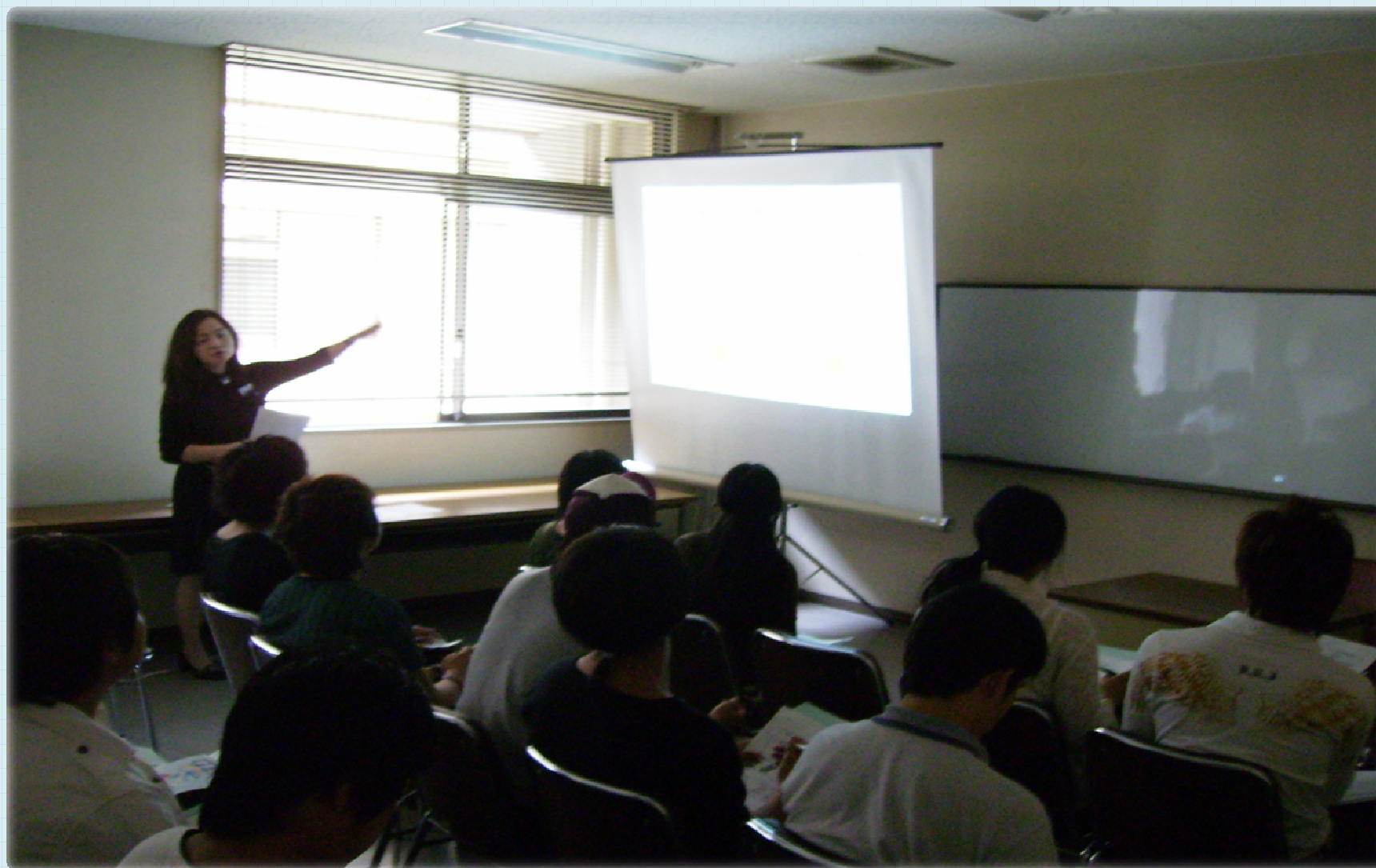
- ・特別支援教育の授業の補佐
- ・その他庶務

スクールボランティアを始めるまで

ザ・わかもの座談会に参加
兵庫県立大学内で、兵庫県職員、
アジア防災センター職員から特別
講義をうける

第1回 ザ・わかもの座談会について

平成20年7月2日



四川省などでの災害状況とボランティアについて



復旧・治療 = 自力で行う傾向

更なる向上に向けて見直し

心のケア = 不十分

需要が高まる

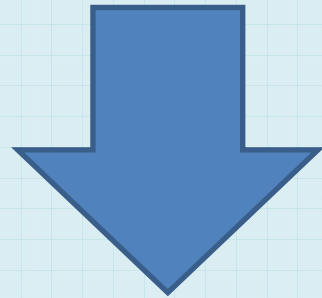
座談会 (他学部計 16 名との交流)



教職課程の学習を深める

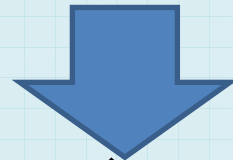
教育の現場がイメージできない

新たな視点から教育を見たい



スクールボランティアを決意

- ・地域の公立中学校に協力を依頼



- ・中学校からスクールボランティアの了承を得る



- ・電話でおおまかな説明をうけ、後日学校内にて詳しい話を聞き、スクールボランティアの活動開始

活動の主な内容

1. 特別支援教育での授業の補佐

授業を進めてゆくにあって、生徒が何らかの問題につまづいたとき、かつ補助が必要な場合にアドバイスをしたり、手助けをしたりする。

ボランティア

教員

A

B

生徒

生徒

生徒

生徒



2. その他の庶務

2人で参加していたため、片方の手が空いているときなどは、庶務を手伝う。

保健室での活動が中心。

Ex. 掲示物作成、行事準備の手伝い

一日の活動の例

	小山	長谷川
1時間目	保健室で掲示物作成	特別支援教室で習字の授業補佐
2時間目	特別支援教室で社会の授業補佐	保健室で掲示物作成(1時間目続き)
3時間目	特別支援教室で数学の授業補佐	特別支援教室で数学の授業補佐

ボランティアをおこなう際の情報発信 について

・情報発信

今回の場合は生徒の個人情報、プライバシーにかかわる問題があるため、情報を極力漏らさないよう注意を払った。

活動を通して得たこと、感じたこと

大学の講義、書籍から学んだ内容とのギャップ。

保健室という場所を新しい視点から

職員室内での業務の流れ

つながっていられるということ

一回のボランティア期間だけでなく、その後までも関係をつないでゆける。

参考文献

文部科学省教育サポーター制度の普及に向けて

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/_icsFiles/afieldfile/2008/12/24/080708.pdf

特別支援教育関係ボランティア活動事例集

静岡県静岡市

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/012/025.htm

2009.2.16 閲覧

御清聴ありがとうございました

* 個人情報保護のため、個人名、学校、生徒が特定できる要素は伏せさせていただきます。ご了承くださいませようお願い申し上げます。